



新冠町立新冠小学校 学校便り 令和5年6月1日



冠小だより

【教育目標】

- ・よく考える子ども
- ・心の美しい子ども
- ・ねばり強い子ども
- ・じょうぶな子ども

令和5年度
重点目標

『共に認め合い、自己有用感がもてる子』の育成
大好きな自分・なりたい自分・みんなと生きる自分を育てる

命を守る

校長 下川徳久



子どもたちの安全と安心を確保し命を守ることは、学校、地域、そして大人たちの務めだと捉えます。

17日の水曜日、地震と津波を想定した避難訓練を行いました。町指定の避難場所に垂直避難（本校校舎の2階以上）が加わったことを受け、今年度はグラウンドに1次避難させた後、校舎の2階へと非難させました。

津波到着予想時刻は、最短で地震発生後15分です。訓練の結果は7分30秒という結果でした。避難に要する時間が十分であったことも成果ではありますが一番の成果はなんといっても子どもたち一人ひとりの訓練に臨む態度でした。これまで経験してきたどの避難訓練より子どもたち一人ひとりの表情が引き締まっており、私語する者など皆無、感心の域を超えた態度でした。

本校では、子どもたちの命を守るため、避難訓練のほかにも取り組んでいることがあります。

本校の児童玄関は職員玄関から離れた位置にあり、職員室からは児童の出入りを確認することができません。ということは、不審者の姿も職員室からは見ることができません。

そこで、児童玄関は午前9時以降、施錠しています。休み時間が終了すると最後の児童が施錠することにしてあります。

また、町内での不審者情報があった場合は、徒歩通学の児童においては集団下校、または、職員が引率しての集団下校としています。場合によっては保護者にお迎えをお願いする場合も考えています。

避難訓練、不審者対策等、子どもたちの安全と安心に向けた取り組みをこれからも続け一人ひとりの命を守ることに繋がっていきます。

家庭・地域・学校が連携していじめ対応を



学校で子ども達はさまざまなことを学びます。学習場面でも、生活場面でも、人間関係でもさまざまな失敗を糧にして成長していきます。ですから「本校はいじめなどありません。」と胸を張りたいところですが、お互いの関係性のゆがみや思い違いで簡単に「いじめ」は生まれてしまいます。つまり、いじめは「いつでもどこでも起こるもの」として、日々の指導や対応をしていかねばならないと全教職員で考えております。また、子ども達が安心して毎日楽しく通える学校となるためには、保護者の皆様、地域の方々としっかり連携し、子ども達

の様子に目を配っていくことが重要になります。

本校では、今年度も本日配布しました「いじめ防止対策推進法に基づく本校の取組について」でご案内しております通り、年2回実施のいじめアンケートや教育相談の実施、子ども理解支援ツール「ほっと」の活用など早期発見、早期対応に向けた取組、重大事案が発生した際の「いじめ防止対策推進法」に基づく警察との連携などを行ってまいります。ご家庭でも、お子さまの様子で気がかりなことや心配なことがございましたら、担任までお気軽にご相談ください。

また、スマートフォンやタブレットの普及、ゲーム機の進歩によって小学生でも手軽にネット環境を介したつながりがもてるようになりました。気軽にいろいろなことを楽しんだり、仲間同士のつながりを深めたりできるようになった反面、ゲーム内での課金やチャット等のやりとり、LINEをはじめとしたSNSによるトラブルなども過去には発生しております。学校や保護者から見えにくいネット環境を通じたトラブルを常に頭に入れておく必要があります。

学校では、計画的に外部の専門機関とも連携し、『ネットトラブル防止』の授業等を行っていく予定にしております。ご家庭におかれましても、お子さまのゲーム・ネットの利用状況について把握とご指導をお願いいたします。



7月29・30日に 小学校連携保護者交流イベント

いよいよ来春へと迫った朝日小学校との小学校統合。今年度からは、統合を見据えて新冠小学校の学校生活に慣れてもらうため、学習活動や給食、掃除、休み時間といった学校生活そのものを中心とした児童交流を行っています。

今年度は、児童だけではなく、新冠小学校、朝日小学校の両PTAが中心となって、保護者交流を中心としたイベントも計画しています。北海道文化財団の後援を受けてアーティストの「加賀城匡貴さん」をお迎えし、両校の親子で交流を深めるイベントを行う予定です。7月29日(土)、30日(日)開催予定ですので大勢の参加をお待ちしています。



今年度の児童交流の様子

